

大河原 ロータリークラブ会報

会長：岡崎 隆 副会長：佐々木由美子 広報・IOC 委員長：津田 政行
幹事：庄司 大 副幹事：鈴木 孝典 副委員長：中山 雅之
委員：櫻井 淳一



2022~2023年度
国際ロータリーのテーマ

イマジン
ロータリー
IMAGINE
ROTARY

2022~2023年度IR会長 ジェニファー・ジョーンズ
国際ロータリー第2520地区 天 沼 久 純
2022~2023年度ガバナー

例会日：毎週木曜日 12時30分 例会場：和洋亭ぶざん 柴田郡大河原町字新南 25-18 TEL 0224-51-1113

会長あいさつ

会長 岡崎 隆

2022年10月13日(木) 第2616回 例会



皆様こんにちは！

オータムフェスティバル参加が迫っております。23日まであと10日でロータリー世界ポリオデーが翌24日ということもあり、この例会後も社会奉仕委員会を開催し余念なく準備を進めてまいりたいと考えております。

今回のオータム参加から新たに会員企業一覧のパネルを展示し、会員の顔なるべく来場者にわかっていただく取り組みと、ロータリーの活動として地域への貢献の取り組みやポリオについてもより深く認識していただくよう今年度に限らず継続していくことが大切であると考えます。

また、今年度事業についてもウィズコロナを意識して、多くの会員家族が楽しめるようなイベント等を親睦委員会とともに理事会等で提案し進めてまいります。

地域貢献の一環としても過日行ったロータリーデイに伴う村田クラブとの合同清掃奉仕活動の他、新たに青少年奉仕・職業奉仕・国際奉仕委員会とも連携を図りながら事業を進めてまいりたいと考えております。

11月4・5・6日とクラブの一大行事である地区大会・親睦ゴルフ大会が開催されます。当クラブからは14名の参加となっており様々なロータリーへの学びとともに楽しんできたいと思います。

後日幹事の方から集合時間、集合場所、11月6日当日の日程等を御周知させていただきますので宜しくお願いいたします。

そして何より来週はいつ以来かわからないほど久しぶりに夜間親睦例会が開催されます。乾杯の喜びとともに楽しみたいと思います。

お繰り合わせの上、欠席予定の方でも前日までお待ちしておりますのでお一人でも多い会員の皆様のご参加を心よりご期待申し上げまして挨拶と致します。

皆さんこんにちは。えずこホールでサンタプロジェクトを担当しております企画係の若林と申します。本日はこの様な場にお呼びいただきまして誠にありがとうございます。貴重なお時間いただきましてありがとうございます。お手元に当ホールのチラシと共に、えずこサンタプロジェクトについてのチラシをご一緒させていただきました。

今年は例年と違いまして1枚目、青い方が4月、5月ぐらいに3町を対象にお配りさせて頂いたものです。今回は、えずこミュージックプレゼンズということで2市4町も追加しまして全部分、仙南地域2市7町、9つの市町村を対象にして今回の対象を広げたものとなっております。2枚今回はご一緒させていただいております。

「えずこプロジェクト」初めてお聞きになる方もいらっしゃるかと思いますので、少しご紹介させていただきます。えずこサンタプロジェクトは皆様のお力を頂き、企業様より協賛金をいただきまして、そちらの金額を児童生徒就学援助制度を受けているご家庭の方に、えずこホールで開催している事業・公演を無料でご招待するチケットをご贈呈するという形となっております。

全て申込制となっはいるんですけども、一家族2公演までお選びいただけるようになっております。こちらはえずこサンタプロジェクトですね。おかげさまで今年で6年目を迎えました。多くの方々にご参加いただきまして昨年度はコロナの影響もありまして、当ホールの大ホールですとかフェラガモホールで行われる公演ですね客席のほう減少させて頂いていたところだったんですけど、7公演24組69名の方に昨年度はご招待させていただきました。ご参加いただいたご家族の皆様へ代わりまして私の方から皆様にお礼申し上げます、本当にありがとうございました。

つきましては今回、昨年度ご参加いただいた方に「えずこサンタさんへ」ということで皆様宛に感想文、お手紙頂いております。回覧させて頂きますので、どうぞご覧ください。せっかくですのでこちらの感想文、少しご紹介させていただきたいと思っております。

昨年度は「子どもと舞台芸術大博覧会 in 宮城」ということで仙台で行いました。いつも東京のオリンピックセンターで行われている舞台芸術大博覧会が、昨年度はオリンピックがありましたのでご利用いただけないということで宮城の方に博覧会というイベントが持ってきてまして、えずこホールも会場になったのでこちらの公演も子どもたちが参加していただいたところとなっております。少しご参加頂いた親御さんのご感想、読ませていただきます。

『小学校からお知らせのチラシを子供が持って帰り、このようなプロジェクトがあったことを初めて知りました。学生の頃は映画・ミュージカル・クラシックコンサートと行きたいと思った時に自由に行けましたが、約10年、行くことができずにいました。久しぶりの生のパフォーマンス、しかも子供と一緒に行けたことがとっても新鮮で嬉しかったです。小道具の繊細さ、歌声の響き、星の王子さまの内容も素敵でした。素晴らしい時間をありがとうございました。』

お子様達ですね、字がまだ書けない子達が多かったのですが一生懸命、絵を描いてくれたりしているんですけど、少し紹介させていただきますね。こちらのお子さんは今年で結成30周年を迎えますAZ9ジュニアアクターズの第29回を見た子の感想とさせていただきます。

『えずこサンタさんへ。最初ワクワクして最後まで見たらちょっと面白くてちょっと笑ったりしたけど、面白いのは面白かったし良かった。お父さんお母さんと見ても面白い劇だからまた行けたらまた見たいです』

ご感想の方は他にも沢山寄せられておりますので、ご観覧いただきたいと思います。私の方からは以上とさせていただきます。続きまして館長よりさせていただきます。



えずこホール館長 玉淵博之様と企画の若林あい子様



最初にですね、サンタプロジェクト事業ここ2・3年コロナですごい影響を受けてる状況だったのですが、事業は止めないという方針で職員一同頑張ってきました。その事においては事業そのものは県内でも多分一番コロナの中でもやっている施設になっているのではないかなという風に思っております。

ただいま文化庁という国の機関からの補助金をいただきまして、いろいろ事業をさせて頂いております。全国で名だたる自治体から申請が出ておりまして、その中で横浜市とか金沢市とか、いろんなところから申請出されているのですが、その100いくつもの自治体の申請の中でえずこホール、我々が頂いている補助金というのが拠点形成事業というもののなのです。その形成事業の中でだいたい50館くらい、半分くらいは落とされて半分くらいしかもらえないという枠の中に入っております。

そしてまた50の中で今、偏差値制ってあるんです。学校と同じような偏差値で出されてる順位というのが去年はBEST 4の4位で、今年度はなんとベスト3に入ってしまったという、非常に国の機関からの高い評価をいただいて取り組んでいる事業というふうな見立てもございまして、もちろんそれに慢心せず、これに関してはもっと先代からずっと引き継いでやってきた事業、そしてこのサンタプロジェクトとかも含めた部分について、全ての事業について評価を頂いてる事でございまして。

改めましてその協力体制ということに対して心から感謝申し上げたいと思います。

ちょっと短い時間ですけれども、前回ちょっとお話ししたかもしれないですが、世界の中の幸福度ランキング・国というのがありますよね。2022年も発表になっています。前回もそうだったかもしれないけど、高い国というと、どういったところを思い浮かべますでしょうか。北欧が多いみたいですね。1位フィンランド、次デンマーク、3位がアイスランド、そしてスイス、オランダという順番。近くでいいますとオーストラリアで12位、アメリカ16位、イギリスが17位。さて日本は何位くらいだと思いますか。ちょっと良くて54位。韓国が57位。今70位と言ったのは中国になります。近隣の国々ですね。思ったより高いのか、低いのか。評価のなかではちょっと低いという見立ても多いようです。

ではなぜ評価が低いということになるんですけれども、その尺度の一つに寛容性の低さというのが分析上挙げられているようです。寛容度の低さって一体何だろうということなんですけれども、2019年内閣府の『満足度生活に関する調査』というのがあるんですけれど、この中で「社会貢献をするということによって満足度は上がる」という結果が出てるそうです。そしてこのことから定義づけられていることがございまして。地域の中で頼れる人が多いとかボランティア活動というのが非常に増加している、多いということによって、地域全体での満足が高くなるというふうな、定義づけられていると断定されてるそうです。そういったものが低いということはそういう活動自体がちょっと少ないんじゃないかというふうな分析でもあるみたいですね。

さて、寛容さということなんですけれども、実は文化と芸術の面には非常につながりというか、言える言葉になってます。「寛容さ」これなんですけれども、「文化」とは何か一言で言うとあの言葉で定位すると難しいんですけど、皆さんが言葉では言わない大事なことを、そのものを文化と定義されています。

どういうことかと言うと、お正月とか。「お正月大事だよね」なんて言わないですよ。そういうようなことです。例えばゴールデンウィークに東京都の中央から子供達が来て、というこれも大事なことですよね。大事なこととか、コロナを押しも来るってことが大事だなんて思って来るんでしょう。当然ながらの世の中にファッションだったりとか、音楽・映画鑑賞、読書・絵画、こういったいろんなものが「大事だ」と言わないのですが、大事にされているという存在がございまして。この文化という部分についてですけれども、人によって大事だというのは違います、当然ながら。当然ながら国によっても違います。なのでこの文化とか芸術というのはその違いみたいなのを許容するっていう一つの役割があるという風に言われて



えずこホールサンタプロジェクトへ会長より助成金の贈呈

います。もしあのこの違いとかいうものがあの尊重・リスペクトされるならば多分あの人がこんなふうと考えてるって言う事をお互いにちゃんと理解しあうということができれば、あるいはその国の文化とかちゃんと理解することができれば、考え方やモットーや大事にしてるものが違うということですから、これがちゃんと許容されれば、もしかしたら国際紛争とか戦争とかって減るのではないかっていう風に言われています。という風に私も思っています。

この違いというのは尊重する・リスペクトするという行為なんですけれども、あの教育現場でも活かされるべきだなという風に思っています。それは当たり前のことかもしれませんが。自分が他者と違う、他者は自分とは違う。だからその違いを持ってお互いを受け入れて協働していく、一緒に何かを作っていく考えていく、これが社会の基本になってると思うんですね。ところで文化とか芸術も寛容性っていう部分については、サンタプロジェクトを行っている子供たち向けの感性を磨いて、そしてその違いを知って感性を磨けば何が違うのか、本物か何なのかというそういう部分に行き当たると思います。そういうことを大事にしましょうというこの取り組みというのは多分地域の文化にとっても大事なことなんじゃないかなという風に思います。

それはサンタプロジェクトは非常に重要なことをやっているんだなあというふうに裏を返せば考えて来たこの6年で色々やって来て、大事なことなんだなあと実感したということでございます。今後ともサンタプロジェクト、小さい事業をではあります。でも本当に人づくりのために、教育のために、地域にとっての子供達をつくるということは、未来をつくることに繋がっていきます。子供達はどんどん減っていきますですけど、いずれ未来をつくるのは子供達ですので、こういうプロジェクトを是非皆様にもご協力いただいで重要性を知っていただければなと思って今日の公演とかですね、ちょっと考えていたことをちょっとおしゃべりさせて頂きました。本日はどうもありがとうございました。

2022年10月20日(木) 第2617回 例会

皆様こんばんは！

待ちに待った夜間例会の開催日となりました。感染状況は楽観できる状況とは言い難いですがルールを守って安全な懇親会に努めてまいりたいと思います。

さて、先日亡くなりました安藤幹朗前会員の仏前に焼香にお伺いしてまいりました。すでに葬儀告別式は近親者で過日済まされたとのことで、私も亡くなったことを知らないまま、患者さんからの情報で知ることができました。

会長経験者ではなかったのですが、ガバナー補佐に一報を入れ、直ちにお伺いいたしました。奥様に気丈に対応いただき、特に思い出に残ることなどを取り留めなくお話しさせていただき心から偲ばせていただきました。1986年入会以来、ご意見番的な立場でロータリーの事、日常の事、母親の係りつけ医として個人的にも長年お世話になり非常に残念でなりません。クラブ会員一同心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、オータムフェスティバルが3日後と迫ってまいりました。社会奉仕委員長の多大なご協力により概ね準備が整う段階となりホッとしております。

また本日の河北新報の経済くらし情報の欄に「ポリオ根絶目指しスーパーカーが集結・10月23日・仙台でチャリティー展示」というイベント広告を目にしました。後ほど幹事報告で回覧させていただきますが、朝目にしてすぐに泉ロータリークラブに電話を入れました。立派なパンフレットのデータが頂ければ同じ日に仙台の第7分区、仙台市内のど真ん中でも同様のロータリーの取り組みが行われていることをオータムフェスティバルの来場者に周知することも大切なのではないかと考えたからです。

早速事務の方から折り返しの電話をいただきご対応いただきました。当日拡大して大河原ロータリークラブのブースに展示したいと思いますので宜しく願いいたします。そのやり取りのメールとパンフレットも回覧しますのでよろしく願いいたします。また先ほど泉クラブの会長から直接お電話をいただきました。当日こちらの日程が終了したら午後3時まで仙台会場は開催しているとのことなので間に合えばお手伝いに行きたいと考えております。ご一緒していただく仲間がいれば心強い限りですので宜しく願い申し上げまして会長挨拶と致します。

2022年10月20日(木) 第2618回 オータムフェスティバル

皆様オータムフェスティバルへのご参加、チャリティーイベントへのご協力に心から感謝申し上げます。後日正確な金額をご報告いたしますが、イベント来場者からの「ポリオのない世界まであと少し 子供たちが、ポリオによって二度と体の自由を奪われないよう今こそポリオの根絶運動」へのご理解のもと多くの募金が寄せられ4年ぶりに開催されたオータムフェスティバルにおいて大河原ロータリークラブによるポリオへの認識向上、支援の働きかけにおいて成果を残せた活動であったと確信しております。ポリオ根絶が達成されるまで継続していくことがロータリークラブの使命でもあると考えますので次年度以降の活動にも期待いたします。

私もこの後、仙台市青葉区の一歩町サンモールアーケードにおいて第7分区主催のスーパーカー・クラシックカーを展示した記念写真撮影によるポリオ募金活動にお手伝いとして参加してまいります。10月24日の世界ポリオデーの前日の日曜日大河原ロータリークラブと同日にイベントを開催する泉ロータリークラブとは2週間前から様々な情報交換やご指導等ご協力いただいたので御礼も兼ねて行ってまいります。本当に本日はお疲れ様でした。以上会長挨拶と致します。

2022年11月10日(木) 第2619回 例会

皆さんこんにちは！

オータムフェスティバルの例会以来久しぶりの例会となります。本当に今年度がスタートして以来、再開されることとなった様々なイベント等への会員の皆様のご協力の賜物に心から感謝申し上げます。

オータムフェスティバルでのポリオ根絶活動、ロータリー奉仕デーにおける大河原中学校グラウンドの除草、清掃活動などの実績が残せていることは会員の皆様のご協力の賜物であると感謝いたします。11月5日に開催された今年度の地区大会本会議の場でこのような活動が多くのスライドによって大きく紹介され、他のクラブから賞賛して頂いたこともご報告申し上げます。地区大会は11名の登録となっておりますが最終的に当クラブは9名の参加となり、バタバタしましたが何とか本会議のみ参加とし、無事帰ってまいりました。また、前日に開催されました役員懇親会に櫻井ガバナー補佐、庄司幹事と参加させていただいた折に阿武隈ゾーンガバナー補佐より今年度のインターシティミーティングの開催の打診がガバナー補佐と私に寄せられ、慣例を崩すわけにはいかないとのことで快諾という形でお受けさせていただいたことを重ねてご報告申し上げます。時期は未定ですが年内には実行委員会を立ち上げ準備に取り掛かりたいと思いますのでご協力をお願いしたいと思います。コロナが再び猛威を振るい始め私の中では第8波に入っているとの認識ではありますが会員の親睦、ロータリー活動への想いを大切にするために、危機的な状況に至る前までは例会等の活動を途切れることなく続けてまいりたいと考えておりますのでご理解の程よろしお願い申し上げます。

今年度の活動方針

国際奉仕委員会 委員長 立石 博政



皆様こんにちは国際奉仕委員長の立石でございます。スピーチの案内をいただいてからずっと寝不足が続いております。何を話したらいいのかなって色々考えましたけど、まず原点に戻ってですね、ロータリーとはということでちょっと調べてみました。

昔の活動からだいぶ年代変わって、審議委員会等含めて色々と内容等変わってきてます。現在でロータリーとはと調べますと、次のようなことが書いてありました。

まずロータリーとは「私たちは世界で地域社会でそして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」ということで出ています。1905年に創設されたロータリーでは110年以上、さまざまな職業を持つ人や市民のリーダーが世界を変える行動人となり、その経験と知識を活かして社会奉仕活動や人道的活動に取り組んできました。識字率向上・平和の構築・水と衛生の改善など幅広い分野で持続可能な影響をもたらすために、ロータリーの会員は毎日世界のどこかで活動してい

ます。ということでさらにこの持続可能・SDGs ですね。流行の言葉が出てくるようになりました。昔はこういった言葉がなかったような記憶でありますけど、最近はそういったものがロータリーの活動としてなっています。

現在のロータリーの重点的な活動分野としては、次に上げることに力を入れています。平和の推進・疾病との戦い・水と衛生・母子の健康・教育の支援・地元経済の成長・環境保護となっています。そしてロータリーはここが違うという内容で事柄が載っていました。まず地元密着の活動ということで、人と人とのネットワークを活かして真のニーズを見極め課題に取り組んでいます。多角的なアプローチ。さまざまな職業をやスキルを持った人たちがアイデアを寄り合い、世界や地域が抱える問題に解決策を見出します。倫理を大切に、責任を持って粘り強く活動し、その場限りではなく持続可能な成果をもたらすことを目指します。ローカルとグローバルで変化をもたらします。ロータリークラブは世界のほぼすべての地域に存在し、それぞれの独自の活動を行っています。皆さんもご存知だと思いますがロータリークラブには次の奉仕部門があります。立場内容で活動しておりますということで5大奉仕ですね。クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕があります。その中で私が委員長になって仰せつかってます国際奉仕は、国際的なボランティア活動をしたり、海外パートナーとの協働活動を通じて平和と理解を推進することです。そういった内容で国際ロータリー情報委員会の方では皆さんも日頃ニュース等、色々な国際情勢を認識していると思いますけど、世界ではまだまだウクライナばかりじゃなくて小さな部族間の紛争とか、そういったものがあちこちでありますけどもそういったものにロータリーの力が少しでも役に立てればというようなことで、RIの方では勉強会をしたりして平和に貢献するべく頑張ってるようです。我々もそこまで大きく、地域ではできないんですけどもロータリーの活動を通じて動いたりロータリー会員になって色々会費等、本部に支払う分担金等含めて少なからずそういったもので応援できているのではないのかなということだと思います。ロータリー会員として途中退会じゃなくて、できれば死ぬまで。そういったことで少しでも貢献できればいいなと私自身は思っております。

いろいろ問題があると世の中が複雑になってるんで様々な問題等あると思いますけども、やはりその場限りのお金で移住したり何かしたってことであれば持続可能な経営が難しいんですけども精神論点のなかなか良いことや、後々までずっと伸びてくというか、それが行き渡れば良い社会になってくのかなと感じております。大きなことは言えないんですけどもそういった地道な活動は、国際奉仕には国際的なものってロータリーの千葉さんもそうですけど、暫く会っていませんけど、米山もそうですけども米山の生徒も日本語を理解してもらうために海外の留学生を日本に呼んでいろいろ援助して、少しでも日本の文化を広めると言うかそういったもので自分の国に持ち帰って日本をもう少し認識してもらうとか、平和に貢献できれば色々な大義のもとで米山の委員会もやっているわけです。

ロータリーの翼も若い子、学生を迎えてお互いに交換してやはり文化の違いを分かったお互い国同士の理解が得られればというようなプロジェクトでやってるわけなのです。国際社会に貢献できればいいな思っております。そういった分野いろいろと数えるとキリがないんですけども、こうやって会員になって皆さんやってる以上、この世の中の役に立って協力できいくんだらう思います。自信を持ってロータリーに活動してもらえばいいのかなと思います。国際情勢色々変わっていますけど、そういったものに負けないでやって行きたいと思っておりますのでご協力お願いします。拙いスピーチで申し訳ありませんけど終了します。

今年度の活動方針

社会奉仕委員会 委員長 佐藤 克美



皆さんこんにちは。今年度社会奉仕委員長を仰せつかっております佐藤克己です。私もスピーチを振られたんですけども何を喋っていいかということで考えまして、今年の活動計画とそして幸いにして皆さんのご協力をいただきまして事業2つほどさせて頂いております。その報告を含めてスピーチさせていただければと思っております。

まずはじめに今年の社会奉仕委員会の組織ですけれど、私そして副委員長に小田部先生、そして委員に丸山勝利さんの3名で活動しております。今年の計画でありますけれど、まず社会奉仕委員会ということで地域社会に必要とされ、そして貢献できる奉仕活動ということで活動をして参りました。そしてロータリー奉仕への参加という風になっておりますけれど、今年度初めの地区研修会、その分

科会でもこの世界奉仕デーについて各クラブで取り組んでほしいというお話もいただきましたし、ガバナー公式訪問でも天野ガバナーより、その奉仕デーに合わせて、日にちはいつでもいいから各クラブ地域で清掃活動を行ってほしいというお話もいただいております。そういうことでこの奉仕デーの参加ということと、あとはポリオ撲滅運動の支援ということで世界ポリオデーが10月24日ということでもあります。オータムフェスティバルがその前の日に開催されましたのでそこに合わせてのポリオ撲滅の周知ということを行っております。あともう一つ、地区財団補助金の活用等ございますけれどもここはまだ調査検討中ということでもあります。

活動の報告をさせていただければと思うのですが2枚目になります。まずロータリー奉仕デーの清掃活動ということで、どういった清掃活動しようかという風に思っていたところ、岡崎会長が大河原中学校さんのグラウンド整備とか、草刈りとかそういうボランティアをされているということで草を刈った後の草を集めて処分すると言うか、袋詰めするそういった作業を手伝っていただければということで、大河原中学校さんからも言われたということがありましたので、その清掃活動に参加しようということで取り組ませていただきました。9月15日に行いましたけれども残暑が厳しくて、非常に暑い中ではあったんですが、参加の皆さんと草を一箇所に集めてそして集めた草を今度は全て袋に詰めてという作業を行わせていただきました。参加会員数は12名とありますけれど、岡崎会長が村田クラブさんにもお話をさせていただきました、村田クラブより小川会長他1名、2名のご参加を頂きまして合同でこの清掃活動を行わせていただきました。この清掃活動の最後に大河原中学校の教頭先生がお越し頂きまして「本当に助かりました。子供達も非常に喜ぶと思います」ということで感謝の言葉もいただいております。

続きまして3枚目になります。ポリオ撲滅運動ということで先日のオータムフェスティバルに出店をさせていただきました。オータムへの出店はこの大河原ロータリークラブの活動だったり、PRということもあるんですがその中でポリオの撲滅のPRもさせていただきました。当日は写真の通りを横断幕とかポスターを掲示しまして、またポリオ撲滅のチラシとかフライヤー、そして大河原ロータリークラブのティッシュに蔵王の昔飴本舗さんの飴を入れたセット300セット作りまして、それを合わせて配布もさせていただきました。

そして募金もさせていただきました、募金総額出ておりますけれど総額で35,774円募金を頂戴しております。このいただいた募金はロータリー財団の方へ送金するという事でまだ幹事の手元にあるということですので、今後財団の方へ送金をさせていただくという手はずになっております。参加人数がですね先ほどの出席、委員長からありましたけれども24名ということであったということですので、私の方で20名ちょっとで描いてしまっておりましたので、その辺だけ訂正をお願いしたいと思います。

非常にロータリーの活動だったり、ポリオについて地域住民の皆さんに広く知っていただける機会になったのではないかなと思っております。本当に会員の皆さんのご協力があって、このような活動ができたと思っておりますので、改めまして皆様に感謝を申し上げたいと思っております。

駆け足で説明させていただきましたけれども会長の方から手短でいいということと言われてましたので、これであの活動の報告も含めて私のスピーチどうさせていただきます。ありがとうございました。

2022年11月17日(木) 第2620回例会

皆様こんにちは！

めっきり寒くなり晩秋から初冬を迎えるころとなりました。

本日の最低気温は3℃、明日は更に放射冷却が厳しく0℃まで下がるそうなので風邪、コロナ、インフルエンザなどにはかからないようどうぞご自愛ください。

さて言いたくはないのですがコロナ感染者が県内で3,000人を超えてまいりました。全国的な傾向を視ますと大都市圏以外は北の方が感染者を多く出していることが読み取られます。当然寒くなることが早い地域ですから換気の回数が減ることによる感染拡大ではないかと考えます。皆様の事業所、自宅等では十分な換気を行うことで感染防止に努めていただきたいと思います。

また、本日は理事会が開催されますが、議案はクリスマス家族親睦会の中身についてとガバナー補佐よりインタシティーミーティングについて開催についての二点であり、次回結果と詳細について幹事より報告があると思います。

また本日シルバー人材センターより事務局長の佐藤ただし様をお迎えしてゲストスピーチをしていただくこととなっております。急なスピーチのお願いにも快く引き受けていただきました。感謝申し上げます。

佐藤事務局長におきましては、長年役場職員として確かな仕事をしていただいた私が役場に携わる中で3本の指に入る優秀な職員さんでした。

企画財政課長時代にデマンドタクシーの運行等で議論を交わし、私も厳しく意見をしてもしっかりと厳しく返してくれる骨のある課長さんでした。

過日、議会にも次年度導入されるインボイス制度によるシルバー人材センターへの悪影響についても説明をいただきました。今後ますます厳しくなる現状についてもクラブ会員のご理解が得られればと思います。コロナもまた感染が増加しておりますのでご自愛ください。以上会長挨拶とします。